

平林
金属

近畿工業製

「スーパーシュレッダー」が本格稼働



本格稼働中の近畿工業製「スーパーシュレッダー」

総合リサイクルの平林金属(本社岡山、平林実社長)はこのほど、家電リサイクル拠点のリサイクルファーム御津に近畿工業製「スーパーシュレッダー」を導入した。中国の環境規制に伴う雑品や処理困難物の国内還流を背景に、廃家電の扱い量も年々増加。設備の増強で省人化と処理能力の向上を図ると共に、黒モーターなど複合物の単一素材化を一段と強化する。同社はミックスメタル選別拠点の西大寺工場でも新たな選別ラインを増設済みで、資源の国内循環と高品質化をより一層推進していく。

**黒モーター処理増に対応
複合物の単一素材化に注力**

平林金属は、岡山県内 台数は1000万台を突外に9拠点有し、この破した。直近の1日当たのうちリサイクルファームの平均入荷台数は約2御津(岡山市北区)は、500台。数年前から中国の廃棄物輸入規制など家電リサイクル法の施行と同時開設した家電4品目の再商品化施設(Aグループ)所蔵だ。

第1工場内は品目ごとに解体ラインが生まれ、隣接する第2工場で主に2、3次加工を手掛ける。純度の高い高品質の各種原料は「ヒラキンブランド」として対外的に高い評価を得ており、メーカーも全幅の信頼を置く。今年2月、家電リサイクル法の施行から同社の使用済み家電製品の入荷



黒モーター処理を倍増へ

状況が続いていた。そのため、人材不足を補うための省人化と処理能力の向上、加えて現場作業員の安全性を確保する目的から、機械化を図ることを決めた。

**脱中国路線を推進
国内処理の高度化に照準**

同社には業界内でも珍しい、新たな設備や技術を生み出す部署「技術開発部」がある。ミックスメタルの国内選別、ミックスプラスチックからの単一素材回収、電子機器などからの希少金属回収、

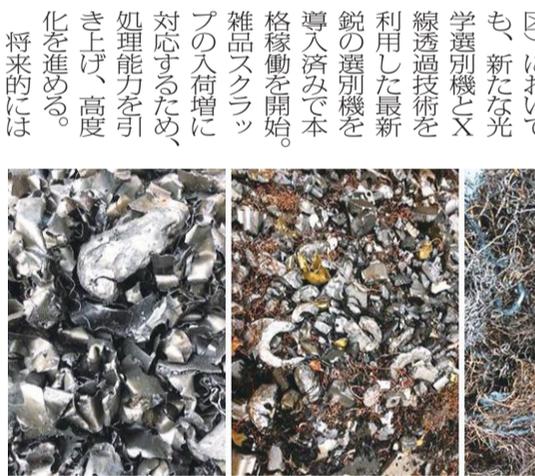
脱中国路線を推進 国内処理の高度化に照準

防止し破砕負荷も低減。独自技術により素材の絡みを抑え、品質の高い単一素材の生産性に優れる。今回の導入に携わった技術開発部の逢澤文孝課長は「大型シュレッダーでの処理も試みたが、分離精度に課題があった」としたうえで、「導入済み企業からの評判も良く、破砕分離性に優れている点を評価した」と語る。

現在、同社の黒モーターの回収量は年間3000ト。4月からの本格稼働で作業の効率化が進むほか、品質面でもスーパーシュレッダーに投入後、さらに磁力と風力選別機を駆使し、単一素材

のスーパーシュレッダーの導入に際してもレイアウト設計を行い、作業動線の最適化を図った。今後も投入材の選定や選別方法など更なる研究を進めていく考えだ。

同社は並行して、ミックスメタルの選別拠点である西大寺工場(岡山市東区)においても、新たな光学選別機とX線透過技術を利用した最新鋭の選別機を導入済みで本格稼働を開始。雑品スクラップの入荷増に対応するため、処理能力を引き上げ、高度化を進める。



黒モーターを直接投入で素材ごとに分離処理

他工場と連携を取りながら、3つの設備を有機的に連動させ、効率的かつ質の高いリサイクルの手法を確立。さらなる脱中国路線の強化と先進的な国内循環処理に取り組んでいく。

化を徹底。相乗効果が図られている。将来的にはモーター類以外の複合物の処理も視野に入れる。リサイクルファーム御津の池田昌隆所長は「家電リサイクルは高度な技



家電リサイクル専用拠点「リサイクルファーム御津」

SUPER SHREDDER™

スーパーシュレッダー™

業界初の雑品スクラップに特化!

優れた分離破砕性能により、雑品の付加価値向上を実現。エネルギー効率の良い破砕でCO2排出量を抑えた環境配慮型シュレッダー。

黒モーターなど処理困難な工業雑品を連続処理

環境省「省CO2型リサイクル等高度化設備導入促進事業」対象製品

【処理対象物】

- 黒モーター
- 小型汎用モーター
- ダイナモ
- セルモーター など



黒モーター